

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1・14	理念の共有ができていない。 理念に沿った仕事の実践ができていない。 入居者様への声掛けが丁寧ではない。	職員全員が理念を理解し行動できる。 入居者様の想いを傾聴し、丁寧な言葉でコミュニケーションをとることができる。	話し合いの際は、理念と行動基準を根拠とし、その都度説明する。(管理者) 正しいケアは承認し、適切でないケアは根拠を添えて指摘する。(管理者、ケアマネ)	6ヶ月
2	13	認知症の知識が十分ではない為に、正しいケアができていない。職員が精神的負担を感じている。	自立支援に向けた認知症ケアとユマニチュードの知識と技術を身につけ、入居者様の認知症状が軽減する。職員の優しさが入居者様に届き、お互いに心地よい時間が過ごせて笑顔が増える。	定期的(3~4ヶ月に1回)に認知症ケアとユマニチュードの勉強会を実施し、勉強会のない月は、分析と評価を行う。(全員) 良い対応はその場で伝え、他の職員にも広める。適切でないケアは、相手に理由を聞いてから、根拠を説明する。(管理者)	12ヶ月
3	35	マニュアルを生かした緊急時の訓練ができていない。	過半数の職員が、マニュアルを見ながら安全に避難できる。	定期的(3~4ヶ月に1回)に緊急時の訓練を実施する。(全員) 訓練後に振り返りを行い、マニュアルの修正をする。(管理者) 1年で職員全員が訓練に参加できるように勤務を組み、訓練の際は管理者は指示を出さず、見守る。(管理者)	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。